

2021 年度 収 支 決 算 書

(令和 3 年度)

自：2021 年 4 月 1 日

至：2022 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本クレー射撃協会

* 2022 年度定時社員総会 承認 (2022 年 6 月 22 日)

2021 年 度 収 支 決 算 書 (案)

(令和 3 年度)

目 次

1. 2021 年度貸借対照表	1 ページ
2. 2021 年度貸借対照表内訳表	2 ページ
3. 2021 年度正味財産増減計算書	3 ページ
4. 2021 年度正味財産増減計算書内訳表	4～6 ページ
5. 財務諸表に対する注記	7 ページ
6. 附属明細書	8 ページ
7. 2021 年度財産目録	9～10 ページ
8. 監事監査報告書	11 ページ
9. 公認会計士監査報告書	12～14 ページ

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度 令和4年3月31日現在	前年度 令和3年3月31日現在	増減
I 資産の部			
1、流動資産			
現金預金	55,414,279	44,655,290	10,758,989
未収金	14,284,825	4,034,759	10,250,066
棚卸資産	2,630,022	2,692,880	-62,858
貯蔵品	44,545	2,045,901	-2,001,356
前払金	0	1,514,500	-1,514,500
前払費用	1,181,040	597,850	583,190
流動資産合計	73,554,711	55,541,180	18,013,531
2、固定資産			
(1)基本財産			
普通預金	40,161,600	40,161,600	0
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	60,161,600	60,161,600	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
機械及び装置	6	286,454	-286,448
什器備品	10,010,981	4,197,034	5,813,947
電話加入権	4,000	4,000	0
差入保証金	1,350,000	1,350,000	0
その他固定資産合計	11,364,987	5,837,488	5,527,499
固定資産合計	71,526,587	65,999,088	5,527,499
資産合計	145,081,298	121,540,268	23,541,030
II 負債の部			
1、流動負債			
未払金	19,903,927	12,615,122	7,288,805
未払費用	2,194,675	2,116,792	77,883
前受金	1,088,000	0	1,088,000
前受会費	2,962,000	3,321,000	-359,000
未払法人税等	282,100	168,300	113,800
未払消費税等	125,200	361,500	-236,300
預り金	511,757	399,483	112,274
短期借入金	0	0	0
賞与引当金	1,358,000	1,708,000	-350,000
流動負債合計	28,425,659	20,690,197	7,735,462
2、固定負債			
長期借入金	30,000,000	30,000,000	0
退職給付引当金	36,163,780	34,691,540	1,472,240
固定負債合計	66,163,780	64,691,540	1,472,240
負債合計	94,589,439	85,381,737	9,207,702
III 正味財産の部			
1、指定正味財産	6,174,928	0	6,174,928
2、一般正味財産	44,316,931	36,158,531	8,158,400
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	50,491,859	36,158,531	14,333,328
負債及び正味財産合計	145,081,298	121,540,268	23,541,030

貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1、流動資産					
現金預金	0	0	55,414,279		55,414,279
未収金	14,163,040	13,000	108,785		14,284,825
棚卸資産	0	2,630,022	0		2,630,022
貯蔵品	0	0	44,545		44,545
前払費用	594,000	0	587,040		1,181,040
流動資産合計	14,757,040	2,643,022	56,154,649		73,554,711
2、固定資産					
(1)基本財産					
普通預金	0	0	40,161,600		40,161,600
定期預金	0	0	20,000,000		20,000,000
基本財産合計	0	0	60,161,600		60,161,600
(2)特定資産					
退職給付引当資産	0	0	0		0
特定資産合計	0	0	0		0
(3)その他固定資産					
機械及び装置	6	0	0		6
什器備品	7,592,007	0	2,418,974		10,010,981
電話加入権	0	0	4,000		4,000
差入保証金	0	0	1,350,000		1,350,000
その他の固定資産合計	7,592,013	0	3,772,974		11,364,987
固定資産合計	7,592,013	0	63,934,574		71,526,587
資産合計	22,349,053	2,643,022	120,089,223		145,081,298
II 負債の部					
1、流動負債					
未払金	18,866,479	0	1,037,448		19,903,927
未払費用	0	0	2,194,675		2,194,675
前受会費	0	0	2,962,000		2,962,000
前受金	1,088,000	0	0		1,088,000
未払法人税等	0	0	282,100		282,100
未払消費税等	0	0	125,200		125,200
預り金	0	0	511,757		511,757
賞与引当金	0	0	1,358,000		1,358,000
流動負債合計	19,954,479	0	8,471,180		28,425,659
2、固定負債					
長期借入金	0	0	30,000,000		30,000,000
退職給付引当金	0	0	36,163,780		36,163,780
固定負債合計	0	0	66,163,780		66,163,780
負債合計	19,954,479	0	74,634,960		94,589,439
III 正味財産の部					
1、指定正味財産	6,174,928	0	0		6,174,928
2、一般正味財産	-3,780,354	2,643,022	45,454,263		44,316,931
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	2,394,574	2,643,022	45,454,263		50,491,859
負債及び正味財産合計	22,349,053	2,643,022	120,089,223		145,081,298

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度 令和3年4月1日～令和4年3月31日	前年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	738	2,105	-1,367
② 特定資産財産運用益			
特定財産受取利息			0
③ 受取入会金	570,000	383,000	187,000
④ 受取会費	35,950,000	32,765,000	3,185,000
⑤ 事業収益	125,943,206	81,928,007	44,015,199
⑥ 受取補助金	10,250,251	11,097,689	-847,438
⑦ 雑収益	2,986,382	9,322,392	-6,336,010
経常収益計	175,700,577	135,498,193	40,202,384
(2) 経常費用			
① 事業費	104,325,085	68,226,011	36,099,074
② 管理費	62,934,992	65,750,974	-2,815,982
経常費用計	167,260,077	133,976,985	33,283,092
当期経常増減額	8,440,500	1,521,208	6,919,292
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引き前当期一般正味財産増減額	8,440,500	1,521,208	6,919,292
法人税、住民税及び事業税	282,100	168,300	113,800
当期一般正味財産増減額	8,158,400	1,352,908	6,805,492
一般正味財産期首残高	36,158,531	34,805,623	1,352,908
一般正味財産期末残高	44,316,931	36,158,531	8,158,400
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	6,732,156	0	6,732,156
② 一般正味財産への振替高	557,228	0	557,228
当期指定正味財産増減額	6,174,928	0	6,174,928
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	6,174,928	0	6,174,928
III 正味財産期末残高	50,491,859	36,158,531	14,333,328

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	実施事業会計		その他会計		法人会計	合計
	普及・振興・競技力向上事業	小計	検定・物品販売事業	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1)経常収益						
① 基本財産運用益						
基本財産受取利息					738	738
② 特定資産財産運用益						
特定財産受取利息						
③ 受取入会金						
受取入会金					570,000	570,000
④ 受取会費						
正会員受取会費					4,700,000	4,700,000
普通会员受取会費					31,250,000	31,250,000
⑤ 事業収益						
公式大会事業収入	29,579,500	29,579,500				29,579,500
段級位事業収入	1,027,000	1,027,000				1,027,000
広報事業収入	2,058,600	2,058,600				2,058,600
国体事業収入	0	0				0
審査・講習会事業収入	1,733,000	1,733,000				1,733,000
奨励金納付収入	15,568,000	15,568,000				15,568,000
検定事業収入			15,344,600	15,344,600		15,344,600
販売事業収入			1,153,920	1,153,920		1,153,920
手数料収入	444,000	444,000				444,000
JOC助成金収入	22,243,844	22,243,844				22,243,844
JSCくじ助成金収入	27,448,000	27,448,000				27,448,000
JSC基金助成金収入	1,897,000	1,897,000				1,897,000
日本スポーツ協会助成金収入	350,000	350,000				350,000
受取補助金振替額	557,228	557,228				557,228
雑収入	6,538,514	6,538,514				6,538,514
⑥ 受取補助金等						
JOC交付金収入					9,447,757	9,447,757
民間補助金等					802,494	802,494
⑧ 雑収益						
雑収益					2,986,382	2,986,382
経常収益計	109,444,686	109,444,686	16,498,520	16,498,520	49,757,371	175,700,577

科目	実施事業会計		その他会計		法人会計	合計
	普及・振興・競技力向上事業	小計	検定・物品販売事業	小計		
(2)経常費用						
①事業費						
公式大会事業費	18,465,324	18,465,324				18,465,324
段級位審査事業費	56,320	56,320				56,320
広報事業費	6,221,400	6,221,400				6,221,400
国体事業費	0	0				0
審査事業費	451,991	451,991				451,991
支払奨励金	570,000	570,000				570,000
検定事業費			135,460	135,460		135,460
物品販売原価			698,521	698,521		698,521
その他強化事業費	6,572,605	6,572,605				6,572,605
強化交付金	400,000	400,000				400,000
JOC事業費	23,761,394	23,761,394				23,761,394
JSC<J>事業費	41,890,937	41,890,937				41,890,937
JSC基金事業費	5,101,133	5,101,133				5,101,133
②管理費						
給料手当	18,176,350	18,176,350	2,596,621	2,596,621	5,193,243	25,966,214
賞与	2,524,424	2,524,424	360,632	360,632	721,264	3,606,320
退職給付費用	1,030,568	1,030,568	147,224	147,224	294,448	1,472,240
福利厚生費	2,997,393	2,997,393	428,199	428,199	856,398	4,281,990
旅費交通費	1,399,745	1,399,745	199,964	199,964	399,926	1,999,635
会議費	1,969,900	1,969,900	281,414	281,414	562,829	2,814,143
通信運搬費	1,166,823	1,166,823	166,689	166,689	333,378	1,666,890
減価償却費	1,283,737	1,283,737	183,391	183,391	366,782	1,833,910
賃借料等	6,377,011	6,377,011	911,002	911,002	1,822,003	9,110,016
事務消耗品費	1,090,926	1,090,926	155,847	155,847	311,693	1,558,466
監査報酬費	1,201,200	1,201,200	171,600	171,600	343,200	1,716,000
印刷製本費	10,010	10,010	1,430	1,430	2,860	14,300
支払手数料	391,985	391,985	55,998	55,998	111,996	559,979
雑費その他	1,361,945	1,361,945	194,564	194,564	389,128	1,945,637
総務事業費	1,062,214	1,062,214	151,745	151,745	303,489	1,517,448
会員費	1,167,071	1,167,071	166,724	166,724	333,449	1,667,244
交際費	617,901	617,901	88,272	88,272	176,543	882,716
租税公課	128,695	128,695	18,385	18,385	36,770	183,850
支払利息	96,596	96,596	13,799	13,799	27,599	137,994
経常費用計	147,545,598	147,545,598	7,127,481	7,127,481	12,586,998	167,260,077
当期経常増減額	-38,100,912	-38,100,912	9,371,039	9,371,039	37,170,373	8,440,500

科目	実施事業会計		その他会計		法人会計	合計
	普及・振興・競技力向上事業	小計	検定・物品販売事業	小計		
2.経常外増減の部						
(1)経常外収益	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
税引き前当期一般正味財産増減額	-38,100,912	-38,100,912	9,371,039	9,371,039	37,170,373	8,440,500
法人税、住民税及び事業税					282,100	282,100
当期一般正味財産増減額	-38,100,912	-38,100,912	9,371,039	9,371,039	36,888,273	8,158,400
一般正味財産期首残高					36,158,531	36,158,531
一般正味財産期末残高	-38,100,912	-38,100,912	9,371,039	9,371,039	73,046,804	44,316,931
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
①受取補助金等	6,732,156	6,732,156	0	0		6,732,156
②一般正味財産への振替高	557,228	557,228	0	0	0	557,228
当期指定正味財産増減額	6,174,928	6,174,928	0	0	0	6,174,928
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	6,174,928	6,174,928	0	0	0	6,174,928
Ⅲ 正味財産期末残高	-31,925,984	-31,925,984	9,371,039	9,371,039	73,046,804	50,491,859

財務諸表に対する注記

(単位:円)

- 1、重要な会計方針
 - (1) 20年基準の適用について
「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 令和2年5月15日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。
 - (2) 固定資産の減価償却について
固定資産の減価償却は定率法により実施している。
 - (3) 棚卸資産の評価方法について
棚卸資産の評価方法は先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)により実施している。
 - (4) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理方法は税込経理を採用している。
 - (5) 退職給付引当金の計上基準について
職員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額により計上している。
 - (6) 賞与引当金の計上基準について
職員の賞与支給に備えるため、支給見込み額の当期負担分を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	40,161,600	0	0	40,161,600
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	60,161,600	0	0	60,161,600
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	60,161,600	0	0	60,161,600

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	40,161,600	(0)	(40,161,600)	(0)
定期預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
小 計	60,161,600	(0)	(60,161,600)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	0	(0)	(0)	(0)
小 計	0	(0)	(0)	(0)
合 計	60,161,600	(0)	(60,161,600)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	20,379,567	10,388,586	10,010,981
機械及び装置	22,793,400	22,793,394	6
合 計	43,172,967	33,161,980	10,010,987

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表
JOC交付金収入	(公財)日本オリンピック委員会	0	9,447,757	9,447,757	0	—
民間補助金等	(公財)ミスノスポーツ振興財団	0	802,494	802,494	0	—
合 計		0	10,250,251	10,250,251	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	557,228
減価償却費計上による振替額	557,228
合 計	557,228

7. 関連当事者との取引の内容
該当事項なし。

附 属 明 細 書

(単位:円)

1、基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	普通預金	40,161,600	0	0	40,161,600
	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
	基本財産計	60,161,600	0	0	60,161,600
特定資産	退職給付引当資産	0	0	0	0
	特定資産計	0	0	0	0

2、引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,708,000	1,358,000	1,708,000	0	1,358,000
退職給付引当金	34,691,540	1,472,240	0	0	36,163,780

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	金額
I、資産の部		
1、流動資産		
①現金預金	現金手元有高	349,723
普通預金(三井住友銀行 渋谷駅前支店)		
一般口	(1454155)	27,779,543
本部事業口	(1683250)	1,451,006
JOC事業口	(3689652)	19,122,274
スポーツ振興くじ助成事業口	(3422197)	1,890,417
基本金口	(4511468)	1,606
スポーツ振興基金事業口	(1093343)	2,323,276
後援企業会口座	(4803041)	900,000
一般口 (ゆうちょ銀行)	(1904203)	1,366,434
当座預金 (ゆうちょ銀行)	(364233)	230,000
②棚卸資産		55,414,279
エンジェルム		
正章 (金・銀・金ダイヤ舎)	75,924	
クレジットカード(3枚セット)	332,556	
カフスセット	82,170	
2017年版ルーブルブック	144,480	
マーカーテープ	441,900	
タイピン(金・銀・金ダイヤ舎)	21,963	
帽子(赤・青・白・シルバー・ベージュ)	315,840	
各種タオル	351,236	
各種ワッペン	12,767	
各種ベルト	254,111	
ストライプ付リール	574,031	
	23,044	2,630,022
	44,545	44,545
③貯蔵品	切手等	
③前払費用		
PCR検査料	594,000	
4月分事務局賃料	495,000	
4月分職員定期代	92,040	
		1,181,040
⑤未収金		
助成金収入	13,483,000	
地方公式大会公認料等	378,000	
サシヨーター入込告掲載料	285,000	
感染症対策助成金等	138,825	
流動資産合計		14,284,825
2、固定資産		
(1)基本財産		
普通預金	40,161,600	
定期預金	20,000,000	
基本財産合計		60,161,600
(2)特定財産		
退職給付引当資産	0	
普通預金	0	
特定財産合計		0
(3)その他の固定資産		
①機械及び装置		
クレー射撃シミュレーターシステム	6	
②什器備品		
模擬銃 4丁	876,851	
庫外貯蔵庫	195,569	
新事務所 什器一式	2,021,173	
新しい生活様式強化事業システム	4,493,016	
インタラクティブホワイトボード・周辺機器	1,682,152	
無線機一式	106,077	
大判プリンター	143,937	
ロジステックサーマルカメラ	148,500	
パソコン(ビツカカメラ)	92,708	
テレワーク用機材他	250,998	
		10,010,981
③電話加入権	4,000	
④差入保証金	1,350,000	
その他固定資産合計		4,000
固定資産合計		1,350,000
資産合計		11,364,987
		71,526,587
		145,081,298

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I、負債の部		
1、流動負債		
①未払金		
化学事業費	1,667,219	
審査講習会事業費	5,775	
広報事業費	1,644,634	
その他公式大会事業費等	23,851	
支払手数料	49,060	
会議費	460,190	
通信運搬費	127,138	
事務消耗品費	104,790	
賃借料・リース料	92,342	
その他旅費交通費等	203,928	
JOC助成金	15,525,000	
②未払費用		
給料手当(3/21~3/31分職員給与)	560,800	
給料手当(3月分職員残業代)	252,718	
給料手当(3月分アルバイト給料等)	291,381	
福利厚生費(未払給与分社会保険料)	175,089	
福利厚生費(夏季賞与分社会保険料)	421,253	
福利厚生費(3月給与分社会保険料)	493,434	
③前受金		
テロツク別本部公式大会①参加料	920,000	
W/C派遣予選会参加料	168,000	
④前受会費		
正会員年会費	300,000	
入会費	22,000	
年会費	2,640,000	
④未払消費税		
⑤預り金		
源泉所得税	382,157	
源泉住民税	87,600	
県協会等	42,000	
⑥未払引当金		
流動負債合計	1,358,000	
⑦賞与引当金		
流動負債合計	1,358,000	
2、固定負債		
①長期借入金	30,000,000	
②退職給付引当金	36,163,780	
固定負債合計	30,000,000	
負債合計	36,163,780	
正味財産		66,163,780
		94,589,439
		50,491,859

一般社団法人 日本クレー射撃協会

監事監査報告書

私ども監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度に係る事業報告書及び収支決算書について、綿密且つ厳正なる審査を致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及び収支決算書について検討いたしました。

2 監査意見

事業報告書及び収支決算書は、なんら違算が無く、法令及び定款に従い協会の財務や事実の実施状況を正しく示していると認めます。

令和4年5月30日

一般社団法人 日本クレー射撃協会
会長 高橋義博様

一般社団法人 日本クレー射撃協会

監事  

監事  

監事  

独立監査人の監査報告書

2022年5月20日

一般社団法人 日本クレー射撃協会
会長 高橋 義博 御中

協立神明監査法人

東京事務所

代表社員

業務執行社員

公認会計士

朝田 潔



監査意見

当監査法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人 日本クレー射撃協会の2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見表明をするものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識

との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、

また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められる。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上